

平成 18 年度入試にかかる分離分割方式の改善について

平成 15 年 11 月 12 日
国立大学協会

- ・国立大学入学者選抜方法は、平成 9 年度以降分離分割方式をもって統一され、募集単位を基本として募集人員を前期・後期に振り分けてきたが、平成 18 年度入試についてはこれを次のようにする。

「 募集人員の分割を行う単位は募集単位にかかわらず原則学部とする。 募集人員分割は現行比率を基準に個別大学の裁量で弾力的に実施する。 分割比率の少ない日程の募集人員に推薦入学・AO 入試などを含めることについてはこれを妨げない。」

- ・改正理由

募集人員を前期日程試験と後期日程試験に振り分ける募集人員分割については、募集単位毎に分割する現行方式は、募集単位が少人数である場合に硬直的に過ぎ、また推薦入学、AO 入試といった選抜方法の多様化に対応し得ないという問題点や前期・後期試験合格者間での学力格差などの問題点が指摘されてきた。さらに、法人化後の適切な競争的環境整備にそぐわないものであるとの指摘もなされてきた。こうした問題点を解決するためには、分離分割方式導入の理念である「1 回限りの選抜機会の解消」や「前期日程試験とは異なる尺度での選抜」が確保されることを原則とするとともに、各大学が合理的な分割を実現する自由度を高めることが必要とされる。

以上